

# 林産試ニュース

## ■令和6年度林産技術セミナーを開催します

林産試験場の研究成果を普及するとともに、多くの方からご意見等をいただき今後の研究課題に繋げるため、令和6年度林産技術セミナーを、令和7年1月31日（金）「北海道日高振興局講堂」で開催します。本セミナーでは、「日高発：広葉樹の新たなサプライチェーンによる販路拡大の取組」と題して林産試験場のこれまでの成果と、全道に広がった日高産広葉樹の販路や、製品化の状況についてお話しします。詳細につきましては、林産試験場ホームページ (<https://www.hro.or.jp/forest/research/fpri/koho/rinsan-seminar202501.html>) をご覧ください。



トドマツ林に侵入した「燃やすにはもったいない」広葉樹の流通改革へ



## 北森カレッジニュース

(林産試験場 広報担当)

### ■木材標本『材鑑』に触れるイベントを開催していただきました

令和6年12月10日の放課後、北海道立総合研究機構林産試験場の酒井研究主幹のご厚意で、木材標本『材鑑』に触れる機会をいただきました。『材鑑』とは、樹木の幹を直方体に切り出し、木口面や木目の観察ができる木材標本のことです。

2年生の選択科目である『木材利用2』の受講者のうち、木材に関して特に関心を持つ7名の生徒がこの材鑑に触れるイベントに参加し、教員3名と酒井研究主幹を含めた11名が、お茶を囲んだ和やかな空気の中で、木材の感触や用途について意見交換を行いました。

材鑑のラインナップはミズナラやイヌエンジュ、ヒノキといった国内産の樹種にとどまらず、コクタンやタガヤサン、リグナムバイタといった珍しい外国産の樹種も含まれていました。生徒たちは興味を持った材を手に取り、その質感や重量を確かめていました。

2年生は令和7年の4月から森林・林業・木材産業の現場で活躍することとなります。自分たちが仕事で扱う樹木の性質や用途について見聞を深める、たいへん貴重なイベントになりました。林産試験場の皆様にお礼申し上げます。



【材の質感や香りを確かめる生徒】



【好きな材を手に取り満面の笑顔】

(北海道立北の森づくり専門学院 那須 貴洋)  
2025年1月号

林産試だより

編集人 林産試験場  
HP・Web版林産試だより編集委員会  
発行人 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
森林研究本部 林産試験場  
URL: <https://www.hro.or.jp/forest/research/fpri/index.html>

令和7年1月1日 発行  
連絡先 企業支援部普及連携グループ  
071-0198 北海道旭川市西神楽1線10号  
電話 0166-75-4233 (代)  
FAX 0166-75-3621